

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	社会福祉施設整備資金借入金助成事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	石井 由美子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	老人福祉施設を設置している社会福祉法人	意図	施設整備促進及び健全な運営ができるようにする
事業内容	平成12年以前に社会福祉法人が、施設整備を目的に借り入れた独立行政法人社会福祉医療機構からの借入金に係る償還金の一部に対して助成を行う			
事業開始から現在までの状況変化	平成6年度に市内の民間老人福祉施設の整備促進及び健全な運営を図ることを目的として開始し、ケアハウスサンライズ流山（流山あけぼの会）、ケアハウス春の苑（あかぎ万葉）整備資金を助成してきた。流山あけぼの会は平成29年度、あかぎ万葉は平成30年度に助成を終えた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	申請件数	2	2	1	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 当該事業は、貸付償還終了までであり、平成30年度が最終交付となる。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,436,263	3,386,027	1,711,121
事業費(b)(円)	3,367,613	3,318,907	1,645,201
うち一般財源	3,367,613	3,318,907	1,645,201
職員給与と費(c)(円)	68,650	67,120	65,920
人役・職員(人)	0.01	0.01	0.01
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

借入償還金に対する助成は定額であるが、利子補給に関する助成金は返済により利子対象額が減額する。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	後期基本計画に位置付け、予算を確保し、確実に事業を実施していく。事業実施に当たっては適正に行なっていく。	③取組における課題(Check)	
②H30に実施した取組(Do)	要綱に基づく適正な実施に努めた。平成30年度で全2施設の償還が終了し、助成は終了となった。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	H30年度で終了